



—第22号—

地域・だいがく連携通信

—神戸大学地域連携ニュース—

神戸大学地域連携推進室
〒657-8501
神戸市灘区六甲台町1-1
TEL:078-803-5391
FAX:078-803-5389
E-mail:ksui-chiiki@office.kobe-u.ac.jp

灘区 大学と連携したまちづくりチャレンジ事業助成

報告会 & 交流会の開催

灘区は、「大学と連携したまちづくりチャレンジ事業」として、灘区内にある3大学（神戸大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸海星女子学院大学）の教職員や学生に、「地域の課題の解決および魅力の向上を目的」に行う活動に対して、助成を行っています。これらの活動の報告とともに交流を行おうと、平成30年1月30日、神戸松蔭女子学院大学学生ホールで、報告会&交流会が開催されました。



萩原社長による講演の様子



3種類のコーヒー

報告に先立ち、地元灘区で、昭和3年から珈琲焙煎業を営む萩原珈琲株式会社代表取締役社長の萩原孝治郎氏から、同社の歴史や地域との関わり、コーヒー豆についての講演がありました。その中で、萩原氏は、阪神・淡路大震災をはじめ何度か災害にもあってきたが、その都度それらを逆にチャンスととらえて乗り越えていった経験を語り、「飛び込んでいって、チャレンジを」と学生達にエールを送りました。また、「地域のためには協力は惜しまない」と、「学生の活動にも相談にのる」との温かい言葉をいただきました。話の合間に、モカ、コロンビア、ニブラの3種類の異なる豆で入れられたコーヒーのきき比べをさみながら、コーヒー豆の産地や効用についてもお話をいただきました。



学生発表の様子

休憩をはさんだ後の報告会では、神戸大学から、「鶴甲いきいきまちづくりプロジェクト」（人間発達環境学研究科）をはじめ学生による3団体、その他神戸松蔭女子学院大学から2団体の活動報告がありました。

区内で活動する学生団体や大学連携関係者の交流は、これまでなかなか機会がありませんでしたが、今回和やかな雰囲気の内にて終えることができました。

地域づくりの基礎知識シリーズ刊行!

地域連携による教育・研究の成果を結集

神戸大学出版会から、「地域づくりの基礎知識シリーズ」として「地域歴史遺産と現代社会」及び「子育て支援と高齢者福祉」が刊行されました。本シリーズは、COC+事業に参加する神戸大学・兵庫県立大学・神戸市看護大学・園田学園女子大学が、地域住民や自治体、企業などと協力しながら展開してきた取組を集約し、これまでの地域志向型教育・研究の成果を活かしたものとなっています。

すでに刊行した「歴史と文化」「子育て高齢化対策」の領域同様に、「自然と環境」「安心安全な地域社会」「イノベーション」の領域においても、地域課題の把握・解決に資するための良きガイドづくりを来年度以降も目指したいと思います。



なだ星まつりの開催 —神戸大学天文研究会—

大学と連携したまちづくりチャレンジ事業助成より



神話劇

神戸大学天文研究会は、大学と連携したまちづくりチャレンジ事業の助成を受け、平成29年9月2日(土)、「第1回なだ星まつり」を神戸大学理学部校舎で行いました。イベントは、参加者の年齢の幅を考慮し、ワークショップという形で幅広い年齢層の子どもたちも楽しめることができるよう、様々なプログラムを提供しました。

さらに、平成29年11月18日(土)には、「なだ星まつり in KOBE 幻夜祭」を神戸大学社会科学系フロンティア館で開催し、84名の方に参加いただきました。

同研究会は、これまで灘区主催の「摩耶山星まつり」への協力を行ってきました。ところが、摩耶山上でのイベントは、天候に左右されやすく、中止が相次いだことから、本年度は、学生主体の企画となり、屋内での実施に至りました。今回、2つのイベントの参加者アンケートでは、「摩耶山よりも開催地が近い」「悪天候でも開催できる」という点が評価されています。このことから、昨年度までの課題は解決されたと分析しています。

今後も、学生自ら地域の方々と共にイベントを企画し、参加者からの意見をフィードバックしながらより良い地域活動が広がることを期待します。



天体のなかま分け



紙芝居



星座早見盤づくり

第3回COC+シンポジウム

地域で育むイノベーション人材 ~新しい挑戦~

大学や自治体などで取り組んでいるイノベーション人材育成の動きを共有し、地域での新たな人材育成の展開を考えようと、平成29年12月22日(金)、神戸大学瀧川記念学术交流会館で標記シンポジウムを開催しました。

第一部では、神戸市からオープンガバナンスやスタートアップ支援などについて、神戸大学及び兵庫県立大学から、各大学のイノベーション人材育成の取組の報告がありました。その後、会場から、イノベーション人材とはどのようなスキルやマインドセットを持った人材か、イノベーション人材を支える周りの環境や仕組みづくりが大切ではないかとの質問があり、活発な意見交換を行いました。

第二部では、地域連携推進室が支援している地域連携公募事業のうち4つの取組についてそれぞれ報告がありました。報告後には、それらの活動に至ったきっかけや、活動に対するモチベーションについて質問がありました。当日は50名の方の参加があり、会場では、その他の公募事業のポスター展示も行いました。

参加 無料
後日発表

ひょうご神戸プラットフォーム 第3回COC+シンポジウム

地域で育む イノベーション人材 ~新しい挑戦~

【日時】平成29年12月22日(金) 14:00~16:20
【場所】神戸大学 瀧川記念学术交流会館 2階大会議室

テーマ

「地域で育むイノベーション人材 ~新しい挑戦~」
地域で育むイノベーション人材の育成が大学を核とした地域社会の活性化に向けて、イノベーション人材の育成が注目されています。文部科学省「第3期」の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に採択された「地域創生に比肩する実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム」事業としてイノベーション人材を育成する取組の取組から、人材育成に取り組むと動いています。
こうしたイノベーション人材の育成については大学のみにならず、様々な取組が実施されています。
今回、大学や自治体などに取り組んでいるイノベーション人材育成の動きを共有することで、地域での新たな人材育成の取組を考えた上で学びを深めます。
地域創生イノベーション推進室が支援している地域連携公募事業のうち4つの取組について報告がありました。当日は50名の方の参加があり、会場では、その他の公募事業のポスター展示も行いました。

プログラム

14:00~14:15 開会
14:15~15:10 第一部「地域で育むイノベーション人材~新しい挑戦~」
15:10~15:15 第二部「地域連携推進室の公募事業」
15:15~16:15 第二部「地域連携推進室の公募事業」
16:15~16:20 閉会

主催：神戸大学、兵庫県立大学、神戸市看護大学、園田学園女子大学
共催：兵庫県、神戸市、神戸商工会議所、兵庫県経営者協会、兵庫県工業会、神戸新聞社
後援：宮内閣府 協力：神戸大学工学部研究推進部「未来社会創造研究センター」
MUSUBU
「場(知)の拠点」

兵庫の防災・地域連携フォーラム

～阪神・淡路大震災の経験を熊本地震被災者へ伝える～

平成30年2月9～11日の3日間、約200名参加の中、地域の安心・安全と大学連携「伝え、学ぶ」の6つの事業を実施しました。

今回は熊本地震被災地益城町住民とともに阪神・淡路大震災被災地の神戸市長田区(9日)、淡路市旧北淡町(11日)を歩き、地元住民、学生、教員らが災害前後のコミュニティ形成について意見を交換しました。加えて、語り部による講話と1995年当時の様子を震災アプリ(長田区)を用いることで災害の記録、伝承の必要性を再認識しました。

10日(土)午前には神戸親和女子大学 菊本教授の案内で布引にて断層フィールドワークを実施し、目の前に聳える断層に自然との共生の必要性を学んだ後、都市安全研究センターオープンゼミナールを開催しました。益城町仮設団地連合自治会の吉村静代会長からは住民による避難所自主運営の大切さや仮設住宅での生活再建の様子が伝えられ、阪神・淡路大震災の経験がどのようにその後の災害に活かされたか学ぶと同時に今も続く様々な課題が議論されました。

まとめに北後明彦教授より神戸大学の知見の共有と防災・減災の知見を得るため、兵庫の地域、被災地間の連携、協力団体による多様な取組の重要性が指摘されました。

3日間の様子はNHK神戸とサンテレビニュース、神戸新聞紙面にて紹介され、社会に広く本取組を伝える機会となりました。



長田のまちあるき



布引断層フィールドワーク



都市安全研究センターオープンゼミナール



淡路市(旧北淡町)語り部 野島断層保存館内

COC+子育て高齢化対策領域

3 大学合同報告会「プラットフォーム」

COC+事業の子育て高齢化対策の一環として、平成29年10月14日(土)、神戸大学・神戸市看護大学・園田学園女子大学の合同報告会「プラットフォーム」を、神戸市立生田文化会館で開催しました。本報告会は、昨年度に続く2回目の開催で、各大学の学生や教員、市民など約120名の参加がありました。

当日は、COC+の概要説明や学生発表、ポスター掲示、情報交換会を行いました。参加者からは「自分の専門外の学生と学びを共有できた。」「多職種の地域を見る視点が参考になった。」などの感想を得ることができました。



学生発表の様子

1年を振り返る ～篠山市・神戸大学地域連携フォーラム～



ポスターセッションのようす

第12回目となる篠山市・神戸大学地域連携フォーラムを平成30年1月20日(土)、篠山市立四季の森生涯学習センターで開催しました。

本学では、農業・農村の学びを深めるため、篠山で実習を行っています。平成29年度は、「実践農学入門」に42名、「実践農学」に28名の学生が履修しました。フォーラムで行われたポスターセッションでは、実践農学入門を履修した学生らが「農家・農村を豊かにするイノベーション」について考えたこと発表し、アプリと農業をリンクさせるアイデアや民泊ツアーなど、学

生ならではのユニークな提案がされました。

神戸大学と篠山市とは、幅広い分野で組織的連携が展開しています。毎年、地域連携推進協議会を開催し、両者間での情報共有と、今後の展開について議論を重ねています。

こうした篠山との連携事業をもとに、元神戸大学農学研究科教授の伊藤一幸先生がこれまでの取組をまとめた本を刊行されました。ぜひお手に取ってご覧ください。

「エシカルな農業 神戸大学と兵庫県の取り組み」伊藤 一幸／編著



活動報告（平成29年10月～平成30年2月）

10月	02日	(大学)	ひょうご神戸学（第3クォーター）開講
	05日	(大学)	地域社会形成基礎論（第3クォーター）開講
	06日	(工学)	工学研究科でのFD実施
	13日	(システム)	システム情報学研究科でのFD実施
	14日	(保健)	COC+子育て高齢化対策領域シンポジウム 神戸大学・神戸市看護大学・園田学園女子大学 3大学合同報告会「プラットフォーム」
	14日	(人文)	まちづくり地域歴史遺産活用講座（人文学研究科地域連携センター）（～15日）
	18日	(大学)	篠山市・神戸大学連携推進協議会
11月	15日	(法学)	法学研究科でのFD実施
	15日	(経済)	経済学研究科でのFD実施
	19日	(大学)	講演「地域を豊かにする 相互扶助が生まれるビジネスとは」
	28日	(人文)	兵庫県文化遺産防災研修会 in 播磨西
	29日	(大学)	大分県中津南高校での出前講義
12月	04日	(大学)	ひょうご神戸学（第4クォーター）開講
	07日	(大学)	地域社会形成基礎論（第4クォーター）開講
	22日	(大学)	第3回COC+シンポジウム 地域で育むイノベーション人材～新しい挑戦～
1月	15日	(農学)	農学研究科と岡山県西粟倉村が連携協定を締結
	17日	(経営)	経営学研究科でのFD実施
	20日	(大学)	地域づくりの基礎知識シリーズ1 「地域歴史遺産と現代社会」刊行
	27日	(保健)	保健学研究科地域連携センター報告会
	28日	(人文)	歴史文化をめぐる地域連携協議会 住民主体の〈地域づくり〉－平成大合併後の状況の中で－
	30日	(大学)	灘区大学と連携したまちづくりチャレンジ助成事業助成報告会 & 交流会
2月	10日	(工学)	兵庫の防災・地域連携フォーラム
	13日	(大学)	COC+推進委員会 平成29年度第2回地域連携推進室会議
	16日	(発達)	人間発達環境学研究科でのFD実施